



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

5月号

令和6年4月26日

さいたま市立与野本町小学校

第一印象

校長 小野 圭 司

第一印象は二度と来ない。このような言葉があるくらいに、第一印象は重要です。私の与野本町小学校に対する第一印象はとてもよかったです。4月1日（月）には、きれいな校舎と明るい教職員に、そして、4月8日（月）には、子どもたちにも出会いました。子どもたちの第一印象は、「素直」です。

また、1か月経った印象も、きれいな校舎と明るい教職員、そして、素直な子どもたちであります。さらに、保護者の皆様、地域の皆様にもかかわらせていただく機会が少しずつあり、本校の子どもたちをいつも温かく見守ったり支えたりしてくださっているのだなあという印象をもちました。とてもいい第一印象ですので、この印象を継続できるよう、また、皆様の期待に応えられるよう私自身これからも真摯に対応するよう気を引き締めてまいりたいと考えています。

さて、子どもたちの第一印象である「素直」ですが、その具体的な姿としましては、まずは、毎朝のあいさつです。4月9日（火）から正門付近や「あいさつ通り」、与野高校前の交差点などであいさつをしていますが、日に日に子どもたちの声が元気よく、そして、私に目を合わせたあいさつになってきています。これは、始業式や一斉下校の時に、元気なあいさつ、目と目を合わせたあいさつについて子どもたちに話をしたためではないかと思えます。子どもたちは私の働き掛けに素直に応えてくれています。

また、4月16日（火）の1年生を迎える会では、新入生を迎える気持ちを全校の子どもたちが素直に表していました。この異学年との交流を通して、1年生という相手がいてこそその相手意識を高めることができていましたし、2～6年生については上級生としての自覚をもつよい機会となりました。1年生もきっと上級生に対して憧れの気持ちをもつことになったのではないかと思います。

さらに、毎日、私が教室を訪問すると、真剣に学習に取り組んでいる様子が見られる中、私に「今は〇〇をやっています」と説明してくれたり、取り組んでいる作品を見せてくれたりする子もいます。これも素直な姿だなあと感じています。

このような私の第一印象である本校の子どもたちの「素直」な心を今後も引き続き、大切に育んでいきたいと考えています。また、この「素直」な心の土台には、家庭や地域での温かいかかわりがあってこそその成果ともとらえています。いつも温かなかかわりをありがとうございます。これからもどうぞよろしく願いいたします。